

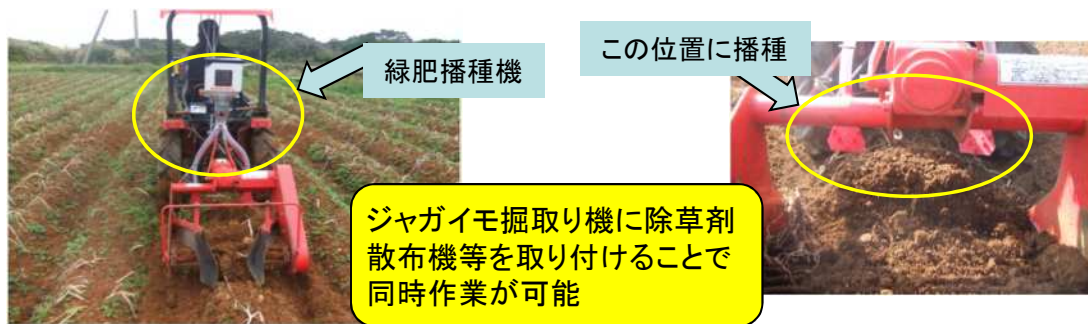
奄美地域におけるジャガイモ掘取り緑肥播種を同時に行う省力的緑肥栽培技術

ジャガイモ掘取り機に除草剤散布機等を取り付けることで、掘り取り・播種同時作業が可能で緑肥の播種作業が省力できる

背景・目的

- ・奄美地域のジャガイモ後作の冬播き緑肥栽培は、緑肥の播種時期がジャガイモの収穫時期と重なる
- ・ジャガイモ栽培規模の大きい生産者は緑肥の播種期を逃したり、栽培を行えない場合も多い
- ・奄美地域の重粘土壌でジャガイモ掘取り緑肥同時播種による緑肥栽培の検討が必要

成果の内容



ジャガイモ掘取り緑肥同時播種による緑肥栽培

場所	播種期	播種量 (kg/a)	出穂期	生育期間 (日)	生草重 (kg/a)	乾物重 (kg/a)
場内	3月28日	1.65	5月27日	59	234	55
現地	3月10日	1.76	5月21日	72	314	72

注)施肥は生育途中(播種19日後)に散播、混和なし

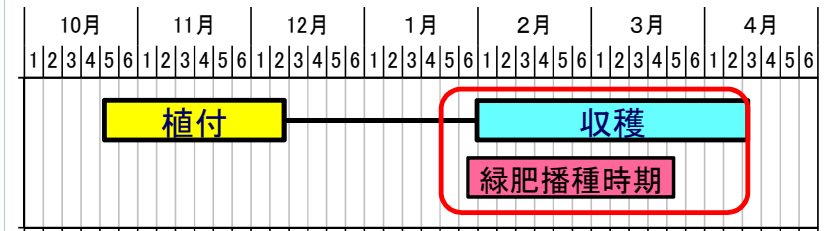
ジャガイモを掘取る時間で緑肥の播種が可能で播種作業の省力が可能
同時播種でも緑肥播種適期の3月20日までに播種すると十分な乾物量が確保できる

期待される効果

奄美地域ジャガイモの生産性向上

鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場園芸土壌研究室

奄美地域におけるジャガイモ作型と緑肥播種時期



導入メリット

省力的緑肥栽培技術

- ・省力的緑肥栽培技術により緑肥の適期播種が可能
- ・大規模でも緑肥栽培が可能
- ・緑肥鋤込みによる増収効果で単収の高位平準化、経営の安定化

普及対象・範囲

奄美地域のジャガイモ生産者